

11/10 家畜に使用する抗菌性物質に関する意見交換会 アンケート集計表(合計)

総合計 参加人数 66 有効回答 20 回答率(%) 30

問1あなたは参加者ですか。傍聴者ですか。

	1会議参加者	2傍聴者
問1	5	15

問2ご自身について、ご回答下さい

	1消費者	2農林水産業	3食品関係事業者	4薬品関係事業者	5飼料関係事業者	6マスコミ関係	7地方公共団体職員	8その他
問2	8	0	3	2	2	0	1	4

問3本日の意見交換会について、何からお知りになりましたか。

	1農林水産省のHP	2メールマガジン	3農政局のHP、配布物	4農政事務所のHP、配布物	5その他の行政機関のHP、配布物	6新聞、雑誌等(新聞、雑誌の名称)	7その他
問3	12	0	2	0	0	2	4

問4 今回の担当者からの説明についてお尋ねします。わかりやすい説明内容になっていましたか。

	1わかりやすかった	2まあまあわかりやすかった	3ややわかりにくかった	4わかりにくかった
問4	7	11	1	1

追加問4-1 説明がわかりやすかったのはなぜですか。当てはまるものには全てご回答下さい。(複数回答)

	1資料内容が平易でわかりやすかった	2説明が明瞭で、的確だった	3適切な説明時間が確保されていた	4その他
問4-1	10	9	2	1
その他記入欄	説明に映像を使用していたため、わかりやすかった。			

追加問4-2 説明がわかりにくかった点はどこですか。当てはまるものには全てご回答下さい。(複数回答)

	1説明内容が専門的すぎた	2説明が難解だった	3説明が聞き取りにくかった	4説明時間が短すぎる	5その他
問4-2	1	0	2	8	4
その他記入欄	EUの取組の課題について、もっと詳しく聞きたかった。 資料はよくできているが、やや簡素化しすぎだと思う。「消費者に分かりやすい」という意味は簡素化すればいいわけではなく、必要なことは説明すべきだと思う。あの説明ではわかりにくいところが残りました。話し方云々ではない。 資料根拠が不明。				

追加問4-3 どのようにすれば、さらにわかりやすくなると思いますか。

	1パネルディスカッション方式	2シンポジウム形式	3ディベートフォーラム形式	4レクチャーフォーラム形式	5その他
問4-3	8	3	1	1	3
その他記入欄	ケースバイケースだと思うが、今回はテーマのわりには、時間が短いと思った。 現状把握がまず大事なので、そこを丁寧にやるべきだと思う。いろいろ説があるのかもしれませんが、できるだけ客観的なデータ、資料の提供をお願いします。それをやらずに意見発表はできない。				

問5 今回の意見交換会は、立場の異なる方々に意見交換していただくことが目的のひとつですが、どんな意見が印象に残りましたか、またその理由もお書き下さい。

理由	意見
共感した意見	<p>「耐性菌で2万人死んだ」といった衝撃的な発言に対して、アドバイザーが丁寧に分かりやすく対応してくれたのが印象に残った。</p> <p>日本では飼料添加物をなくすと、動物用医薬品の使用量が増加するので、飼料添加物はなくさない方がいい。</p> <p>小若さんの意見</p> <p>消費者にあった生産</p> <p>アドバイザーの人間の対場だけでなく、飼育動物の立場からも考えるという、新しい視点</p> <p>日本子孫基金小若さんの意見</p>
反対した意見	<p>国産に比べ、輸入品の方が管理が甘い。食品添加物等でも輸入品の規格が甘いといった声が出されたことがある。このような意見に賛成できない。</p> <p>生産段階で使われなければ、価格が上がる、生産性が下がること</p> <p>全農でSPF豚が容易に生産されているような紹介は誤解を招く。SPF = 無薬と考えるのはおかしい。</p> <p>小若さんが平松教授を信じているのは勝手であるが、それ以外のことは全て拒絶するのは困ったものであり、きちんと反論も時間がかかる。</p> <p>抗菌性物質がなくては生産が落ちるとのことだが、あまりにも短絡的。</p>
発見した意見	<p>抗生物質を使用しない畜産は現在では考えられない。</p> <p>生産者による豚の飼育の話などは、普段聞かない話なので印象に残った。</p> <p>生産、消費、それぞれの立場の違いがよく現れていた</p>
その他	<p>誰という訳ではないが、参加者は構えずだと思ふ。いろいろ思いはあると思うが、まずはできるだけ共通認識の上で議論したいもの。ただ共通認識を得るための議論ならそれはそれでいいと思う。皆で情報を出し合うことも必要。農林水産省としては、できるだけ客観的な資料提供に努めて欲しい。</p> <p>動物に使用する抗菌性物質が人間の耐性菌問題に関係しているか、いまいかまだはっきりよく分かっていないという基本的な点がいまいにされたまま、会議が進行してしまった。</p> <p>全然印象に残ったものは無かった。そもそもどんな立場の人が発言したのか、傍聴席では分からない。</p> <p>MRSAによる死者数を実数で述べられた。</p> <p>(MRSAによる死者数に関する厚生労働省からの情報) MRSAによる死者数はよくわかっていません。ちなみに平成14年の人口動態統計によれば、感染症及び寄生虫症の死亡数総数が19,859人ですが、この中には、ウイルス性肝炎によるもの5,663人、結核によるもの2,317人などが含まれています。 出典：平成14年 人口動態統計感染症及び寄生虫症の死亡数総数...19,859人 【内訳】 敗血症...6,083人、ウイルス性肝炎...5,663人、結核...2,317人、腸管感染症...1,249人、HIV病...54人 その他の感染症及び寄生虫症...4,493人</p>

問6 今回意見交換会を開催したことを、どのようにお考えですか。

	1評価する	2やや評価する	3あまり評価しない	4評価しない
問6	16	3	0	0

問7 意見交換会に出席されて、どのような感想を持たれましたか。あてはまるものはすべてご回答下さい。(複数回答)

	1広く関係者の意見を聞き意見交換する行政の姿勢が見られた	2情報を公開していこうとする行政の姿勢が見られた	3対行政だけでなく、立場の異なる関係者間での意見交換が大切と感じた	4意見交換として、不十分だった(時間的)	4意見交換として、不十分だった(内容的)	4意見交換として、不十分だった(両方)	5行政の一方的な説明に終わって、運営に不満を感じた	6その他
問7	10	7	10	3	0	7	1	2
その他記入欄	<p>時間が足りないと思う。開催する事は大事だが内容が伴わないと消化不良になる。もっと聞きたいことがたくさんあるし、質問の答えに対する再質問もある。しかし、時間のことを考えると、つい遠慮してしまう。終了後傍聴者から早口すぎると言われたが、これも時間を気にしてしまった事も原因だと思う。</p>							

問8 自由記入欄

今回は8消費者団体から意見の提出があり、選考が行われ4団体が選ばれたと聞いた。選ばれた団体はいいが、選ばれなかった団体の立場を考えると、以後意見を提出する意欲が薄れてしまうのではないかと心配。消費者団体にもいろいろあるので、広く意見を聞いてもらいたい。参加団体数の制限がある場合、不参加団体の意見を紹介して頂けないかと思う。

一部の参加者(消費者側)が、自著の宣伝をしていたような印象があり、不快。

今回は消費者の意見を中心に進められたのは良かったと思う。まず疑問点を出させてから討論で、それなりの理解や進める方向が見えてきた気がする。

一人一人の発言の時間が長すぎる。限られた時間でコミュニケーションを行うためには、一人当たりの発言を2分以内にとどめ、参加者全員が意見を述べられるようにすべきである。そのためには司会の管理が大切。

会場が大変狭く、息苦しかった。資料も隣とぶつかってしまい、広げることも不自由でした。

傍聴者が聞いていたより多かったように感じた。

リスクコミュニケーションは大事ですが、なんだかお祭りのようになるにも落ち着きません。もっとゆったり、何も気にせず、リラックスしてはなせる環境は出来ないものでしょうか。

参加者が多すぎる。

生産者、消費者、事業者、学者ともに本参加者以外にも意見を表明したいものは多いはず。何回かに分けて行うことが必要。

農薬、養殖についても同様の意見交換会を行う必要がある。

消費者側は事前知識のある人、ない人が見受けられた。専門家とはハンディがあるので、事前にある程度レクチャーしておくことが必要ではないか。これも消費者に軸足をのいた行政の推進のはず。